

セキュアアクセスリソースコネクタの登録がエラー106で失敗する

内容

問題

Ubuntu上のDockerベースのSecure Access Resource Connector(PAC)は正常に起動されましたが、Cisco Secure Service Edge(SSE)への登録に失敗しました。その結果、インスタンスID長の検証が原因でエラー106が発生し、ダッシュボードにコネクタの可視性がありません。

リソースコネクタの起動に成功し、「Resource Connector launched successfully (リソースコネクタの起動に成功) 」というメッセージが表示されましたが、コネクタはSSEダッシュボードに表示されず、診断チェックで登録エラーが判明しました。

診断出力には、SSEサービスのDNS解決障害や特定のデーモンエラーなど、複数のネットワーク接続の問題が示されています。

```
daemon init state
106
```

診断ヘルスチェックの結果：

```
error: 106 fail to register, the provision key could be expired
```

プロビジョニングキーを複数回再生成し、ファイアウォールルールを検証しましたが、登録が失敗し続け、ダッシュボードにコネクタが表示されませんでした。

環境

- Cisco Secure Access – リソースコネクタ
- UbuntuでのDockerベースの導入

解決方法

この問題は、登録エラーを引き起こしていたインスタンスID長検証エラーを解決することで解決されました。実際の根本的な原因は、プロビジョニングキーの期限切れやネットワーク接続の問題ではなく、リソースコネクタのホスト名が長すぎて、生成されたインスタンスIDが50文字の制限を超えることでした。

ステップ1：インスタンスIDの長さの問題を特定する

リソースコネクタのログを確認し、「`sudo /opt/connector/data/bin/techsupport`」を実行して実際の登録エラーを特定します。

```
2026-05-28T17:08:51Z INF requesting registration func=makeACARegistrationRequest parameters={"environme
2026-05-28T17:08:51Z ERR registration request failed error="RegisterConnector::failed registration requ
```

手順2：リソースコネクタのホスト名を変更する

生成されたインスタンスIDが10 ~ 50文字の間に残るように、リソースコネクタのホスト名が十分に短いことを確認します。インスタンスIDは、ホスト名とハッシュサフィックスを組み合わせで生成されます。

より短いホスト名でリソースコネクタを起動します。

```
sudo /opt/connector/install/connector.sh launch --name [shorter-name] --key [provisioning-key]
```

ステップ3:IP転送の有効化

ホストシステムでIP転送が有効になっていることを確認します。

```
echo "net.ipv4.ip_forward=1" | sudo tee /etc/sysctl.d/99-docker-forwarding.conf
```

ステップ4：コンテナまたはVMの再起動

コンテナまたは仮想マシンを再起動してIP転送設定を適用し、リソースコネクタが新しいホスト名で始まることを確認します。

ステップ5：登録の確認

diagnosticコマンドを実行して、登録が成功したことを確認します。

```
/opt/connector/data/bin/diagnostic
```

デーモンinit state がエラー106を示さなくなり、リソースコネクタがSSEダッシュボードに表示されることを確認します。

原因

リソースコネクタの登録エラーは、インスタンスIDの長さの検証エラーが原因で発生しました。リソースコネクタのホスト名が長すぎる場合、生成されたインスタンスID（ホスト名とハッシュサフィックスを組み合わせたもの）は最大許容長の50文字を超えます。SSE APIは、インスタンスIDの長さを検証し、1～50文字の範囲外のインスタンスIDを持つ登録要求を拒否します。その結果、400個の検証エラーが発生し、コネクタがダッシュボードに表示されなくなります。

エラー106「fail to register, the provision key could be expired（登録に失敗しました。プロビジョニングキーが期限切れになる可能性があります）」というメッセージは誤解を招くおそれがあります。実際の問題はプロビジョニングキーの期限切れではなく、インスタンスIDの検証の失敗に関連しているためです。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。